

2020年度全国ゴルフ練習場施設数と利用者数

1施設平均利用者数3万人台、バブル期上回る統計史上初の活況

ゴルフ練習場業界が活況だ。

2020年春のコロナ感染拡大の初期こそ、外出抑制や営業自粛でゴルフ練習場の利用者数が落ち込んだものの、3密を避けられる近場のレジャー、スポーツとして人気となり、好調ぶりが際立っている。しかも、ここ数年は都市部で大型ゴルフ練習場を閉鎖して事業転換や売却するところも相次ぎ、需要爆発により、あのバブル期をも上回る「特需状態」となったデータが明らかになった。

ゴルフ練習場の専門情報紙「月刊ゴルフレインジ」と、同紙を発行するケージリアル出版の系列調査機関である経営コンサルタント会社(株)ゴルフ経営研究所(☎03・3423・6141)が、「月刊ゴルフレインジ」2月号(1

月25日発行)で2020年度(20年4月1日～21年3月31日)の「全国ゴルフ練習場の施設数と利用状況」の合同調査結果を発表したものの。

施設数が大きく減少した一方で延べ利用者数は増加し、1施設当たりの利用者数は7年連続で増加となった。21年度も引き続き好調な予測がされていることから、ゴルフ練習場の活況がゴルフ場にどこまで波及していくのかが注目される。

ゴルフ練習場施設数は最多期より45・1%減の2976施設に

同調査によると20年度の

図1 練習場施設数・利用者数増減率推移

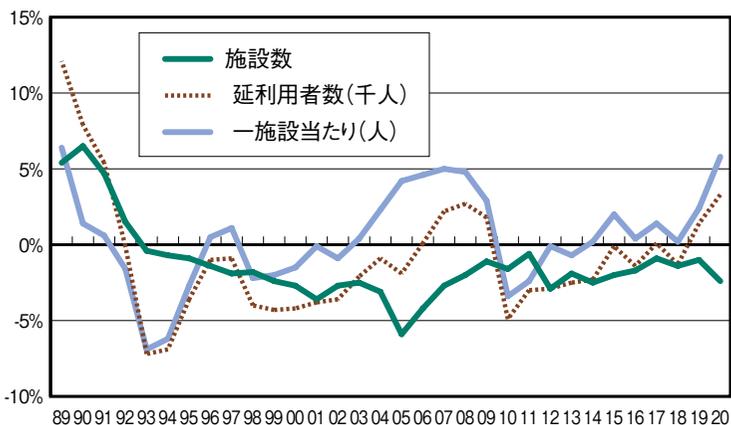
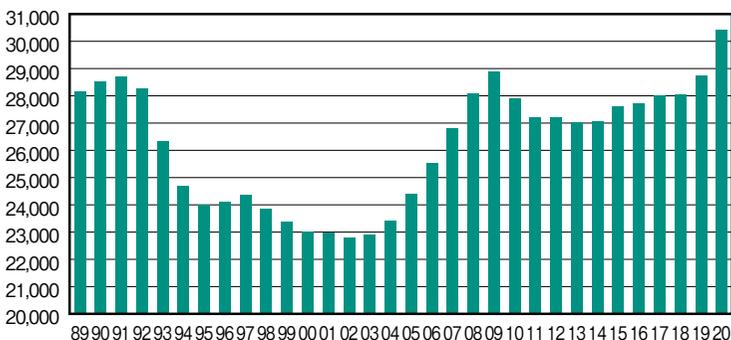


図2 一施設当たり利用者数推移(人)



延べ利用者数は904万8千人で、前年度比286万4千人増（前年度は117万7千人増）、率では3・3%増（1・4%増）と2年連続の増加となった。

同紙によると20年度はコロナ禍で懸念されたものの、6月以降に大幅に回復した。延べ利用者数が900万人を回復するのは13年度以来7年ぶり。

20年の利用者数はピーク時である1991年度の1億5329万8千人と比較すると6280万人減、率にして41%の減少とマーケットは大幅縮小したが、その分施設数がピーク時比で45・1%減少したことにより、活況を呈している。

20年度の施設数は2976施設で、前年度比74施設減、率では2・4%減（前年度1・0%減）となっている。新設が20施設（45施設）と前年度より25施設減少し、閉鎖は94施設（77施設）で、差し引き74施設（32施設）の減少となった。

これは施設数のピーク時である1992年度の5420施設と比較すると、20年度は2444施設（閉鎖数は3267施設、新設82

3施設）もの減少で、率では45・1%減となった。これで施設数は1993年頃から28年連続の減少となっている。

20年度の1施設当たりの利用者数は3万406人で、前年度比1677人増、率では5・8%の増加となった。7年連続の増加で、利用者数が増えた上、施設数が減少したため2014年以降1施設当たりの利用者数がプラスに転じていたが、20年度の1施設当たりの利用者数3万406人は、バブル期をも上回り、1965年の統計以来初の3万人台を記録することになった。

施設数を都道府県別にみると、増加したのは宮崎と沖縄の2県のみで、逆に減少したのは神奈川県7施設減、愛知・大阪5施設減、北

表1 全国ゴルフ練習場施設数、延べ利用者数の推移

年度	施設数			延べ利用者数 (千人)			一施設当たり (人)		
	前年比	比率		前年比	比率		前年比	比率	
89	4,790	245	5.4%	134,841	14,556	12.1%	28,151	1,685	6.4%
90	5,099	309	6.5%	145,508	10,667	7.9%	28,537	386	1.4%
91	5,338	239	4.7%	153,298	7,790	5.4%	28,718	181	0.6%
92	5,420	82	1.5%	153,170	-128	-0.1%	28,260	-458	-1.6%
93	5,399	-21	-0.4%	142,110	-11,060	-7.2%	26,322	-1,938	-6.9%
94	5,359	-40	-0.7%	132,260	-9,850	-6.9%	24,680	-1,642	-6.2%
95	5,309	-50	-0.9%	127,455	-4,805	-3.6%	24,007	-673	-2.7%
96	5,233	-76	-1.4%	126,202	-1,253	-1.0%	24,117	110	0.5%
97	5,131	-102	-1.9%	125,078	-1,124	-0.9%	24,377	260	1.1%
98	5,037	-94	-1.8%	120,111	-4,965	-4.0%	23,846	-531	-2.2%
99	4,918	-119	-2.4%	114,948	-5,162	-4.3%	23,373	-473	-2.0%
00	4,785	-133	-2.7%	110,152	-4,796	-4.2%	23,020	-353	-1.5%
01	4,611	-174	-3.6%	106,010	-4,142	-3.8%	22,991	-30	-0.1%
02	4,486	-125	-2.7%	102,214	-3,796	-3.6%	22,785	-206	-0.9%
03	4,372	-114	-2.5%	100,064	-2,150	-2.1%	22,887	102	0.4%
04	4,236	-136	-3.1%	99,161	-903	-0.9%	23,409	522	2.3%
05	3,987	-249	-5.9%	97,281	-1,880	-1.9%	24,400	990	4.2%
06	3,818	-169	-4.2%	97,422	141	0.1%	25,517	1,117	4.6%
07	3,715	-103	-2.7%	99,550	2,128	2.2%	26,797	1,280	5.0%
08	3,641	-74	-2.0%	102,204	2,654	2.7%	28,070	1,273	4.8%
09	3,602	-39	-1.1%	104,036	1,832	1.8%	28,883	813	2.9%
10	3,546	-56	-1.6%	98,936	-5,101	-4.9%	27,901	-982	-3.4%
11	3,526	-20	-0.6%	95,986	-2,950	-3.0%	27,222	-678	-2.4%
12	3,425	-101	-2.9%	93,180	-2,806	-2.9%	27,206	-16	-0.1%
13	3,361	-64	-1.9%	90,823	-2,358	-2.5%	27,023	-183	-0.7%
14	3,278	-83	-2.5%	88,746	-2,077	-2.3%	27,073	51	0.2%
15	3,211	-67	-2.0%	88,699	-47	-0.1%	27,624	550	2.0%
16	3,155	-56	-1.7%	87,478	-1,221	-1.4%	27,727	103	0.4%
17	3,126	-29	-0.9%	87,552	74	0.1%	28,008	384	1.4%
18	3,082	-44	-1.4%	86,448	-1,104	-1.3%	28,049	42	0.2%
19	3,050	-32	-1.0%	87,625	1,177	1.4%	28,729	680	2.4%
20	2,976	-74	-2.4%	90,489	2,864	3.3%	30,406	1,677	5.8%

横ゴルフ経営研究所 調査

海道・静岡4施設減、千葉・兵庫・広島・福岡3施設減、宮城・山形・茨城・栃木・東京・新潟・長野・三重・滋賀・奈良・島根・岡山・熊本・鹿児島2施設減、秋田・群馬・山梨・岐阜・京都・和歌山・高知・長崎1施設減となり、前年と同じは12件だった。

同紙の報告では、近年の閉鎖は、土地の効率活用から企業系大型施設の跡地転用が主としており、大型商業施設や住宅地に転身した。ただし、20年度から21年度は新型コロナウイルスにより、練習場はブーム期に匹敵する集客があるものの、親会社の経営事情から、関連会社の練習場用地を売却し乗り切る「コロナ補填閉鎖」が何例か出ている

表2 ゴルフ練習場の施設数と利用状況 2020年度 (2020年4月~2021年3月)

都道府県	施設数	増減	比率	延べ利用者(千人)	増減(千人)	比率	1施設当り(人)	増減(人)	比率
北海道	145	-4	-2.7%	1,734	78	4.7%	11,960	845	7.6%
青森	15	0	0.0%	170	13	8.3%	11,343	889	8.5%
岩手	26	0	0.0%	256	16	6.7%	9,833	601	6.5%
宮城	45	-2	-4.3%	856	44	5.4%	19,014	1,727	10.0%
秋田	27	-1	-3.6%	175	9	5.4%	6,466	523	8.8%
山形	19	-2	-9.5%	238	1	0.4%	12,506	1,239	11.0%
福島	49	0	0.0%	1,056	62	6.2%	21,547	1,258	6.2%
茨城	104	-2	-1.9%	2,594	193	8.0%	24,940	2,288	10.1%
栃木	106	-2	-1.9%	2,155	109	5.3%	20,328	1,383	7.3%
群馬	85	-1	-1.2%	1,437	77	5.7%	16,906	1,088	6.9%
埼玉	152	-3	-1.9%	6,533	409	6.7%	42,978	3,469	8.8%
千葉	158	-3	-1.9%	6,007	487	8.8%	38,021	3,737	10.9%
東京都	273	-2	-0.7%	12,517	-266	-2.1%	45,851	-633	-1.4%
神奈川県	147	-7	-4.5%	6,916	55	0.8%	47,047	2,495	5.6%
新潟	33	-2	-5.7%	692	3	0.4%	20,981	1,290	6.6%
富山	20	0	0.0%	555	15	2.8%	27,731	729	2.7%
石川	17	0	0.0%	377	9	2.4%	22,189	520	2.4%
福井	10	0	0.0%	308	6	2.0%	30,814	633	2.1%
山梨	36	-1	-2.7%	721	38	5.6%	20,038	1,587	8.6%
長野	80	-2	-2.4%	1,300	50	4.0%	16,249	1,006	6.6%
岐阜	70	-1	-1.4%	1,887	118	6.7%	26,953	2,042	8.2%
静岡県	145	-4	-2.7%	3,432	157	4.8%	23,667	1,686	7.7%
愛知	191	-5	-2.6%	8,267	338	4.3%	43,284	2,828	7.0%
三重	55	-2	-3.5%	1,571	91	6.1%	28,558	2,597	10.0%
滋賀	28	-2	-6.7%	794	19	2.5%	28,362	2,531	9.8%
京都	44	-1	-2.2%	1,513	29	2.0%	34,388	1,418	4.3%
大阪	97	-5	-4.9%	6,517	-169	-2.5%	67,185	1,639	2.5%
兵庫	102	-3	-2.9%	3,762	190	5.3%	36,879	2,858	8.4%
奈良	36	-2	-5.3%	1,789	6	0.3%	49,701	2,769	5.9%
和歌山	25	-1	-3.8%	439	12	2.8%	17,558	1,149	7.0%
鳥取	10	0	0.0%	191	11	6.1%	19,088	1,063	5.9%
島根	18	-2	-10.0%	304	-7	-2.3%	16,916	1,354	8.7%
岡山	48	-2	-4.0%	1,265	39	3.2%	26,357	1,839	7.5%
広島	80	-3	-3.6%	2,614	34	1.3%	32,669	1,585	5.1%
山口	47	0	0.0%	739	47	6.8%	15,734	1,016	6.9%
徳島	29	0	0.0%	385	21	5.8%	13,288	752	6.0%
香川	36	0	0.0%	971	55	6.0%	26,982	1,527	6.0%
愛媛	31	0	0.0%	527	30	6.0%	17,001	962	6.0%
高知	32	-1	-3.0%	428	15	3.6%	13,379	875	7.0%
福岡	115	-3	-2.5%	3,258	217	7.1%	28,327	2,552	9.9%
佐賀	10	0	0.0%	165	14	9.3%	16,483	1,347	8.9%
長崎	36	-1	-2.7%	444	18	4.2%	12,329	806	7.0%
熊本	43	-2	-4.4%	735	28	4.0%	17,090	1,383	8.8%
大分	28	0	0.0%	455	21	4.8%	16,264	775	5.0%
宮崎	19	1	5.6%	493	57	13.1%	25,969	1,767	7.3%
鹿児島	41	-2	-4.7%	555	9	1.6%	13,525	826	6.5%
沖縄	13	1	8.3%	393	58	17.3%	30,226	2,291	8.2%
合計・増減	2,976	-74	-2.4%	90,489	2,864	3.3%	30,406	1,677	5.8%

※ ゴルフ経営研究所調査、都道府県別の増減比率は本誌で算出

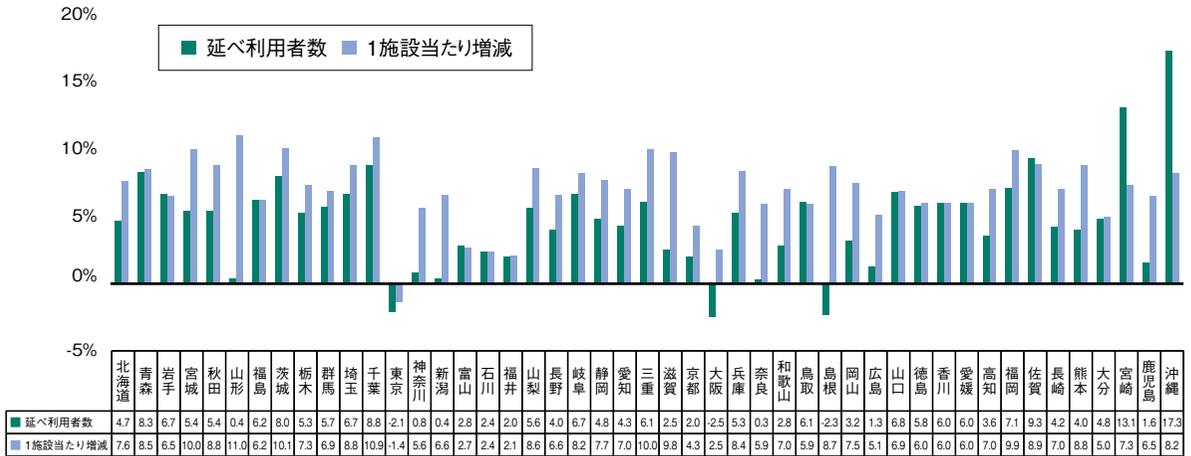
という。
神奈川県横浜市の杉田ゴルフ場は親会社の西武ホールディングスが128億円で用地を売却した。好立地に所在するゴルフ練習場は元々遊休地活用の側面が強く、イザとなれば転身できる身の軽さで使い勝手が良く、ゴルフ練習場業

界の需給関係を保つ秘訣でもあったのだろう。
バブル期に造成したゴルフ場などは市場縮小で転身を図りたくても含み損が大きく、市場規模に応じて自然淘汰されなかつたことから需給改善に手間取ったのとは大きく異なる。

ピーク時と比べて半減近く減つたゴルフ練習場業界で生き残つた施設は今や需要過多を謳歌する春を一足先に迎えているものだ。
また同紙の報告によると、練習場の施設分布は関東に全体の3分の1が集中している。しかも最多の東京は273施設だが、23区内

は屋外タイプが23%で大半がインドア。インドアは閉鎖、開設が容易で、判断していかない施設があることが予想されるという。
都内や都市部でさえ、コロナでの閉鎖で一時期インドア施設が減つたことから、インドア比率は東京で施設数の74%、大阪40%、神

図3 ゴルフ練習場 都道府県利用者数前年比



奈川36%に若干落ちたが、それでも全国では2割を超えているという。

事業再構築補助金を活用して飲食店がインドア練習場を開設したり、フランチャイブのインドアスクールの開設が相次いでおり、特にインドア施設の業界組織も整っていないだけにコロナ禍で相当数のゴルフ施設が増えているのは間違いない。あたかも韓国のシミュレーションゴルフなどの活況を後追いついていくのか様相だが、実態が把握できるには時間が必要となるだろう。

インドア施設が増えているように都市部は需要も強いが、地方の例えば北海道や東北では利用者分布以上や施設数が多く、供給過剰の状態でもあるという。しかも、地方部ではゴルフ場が付帯練習

場の開放も進めていて、集客競争が過熱しているという。

ちなみに、1施設当たりの利用者は全国平均で3万406人だが、都道府県別トップは大型練習場の多い大阪府の6万7185人以下、奈良県4万9701人、神奈川県4万7047人、東京都4万5851人、愛知県4万3284人、埼玉県4万2978人、千葉県3万8021人、兵庫県3万6879人、京都府3万4388人、広島県3万2669人、福井県3万814人、沖縄県3万226人などで全国平均を上回る地域は地元のゴルフファームも多いことになり、コロナ禍でもゴルフ場の集客環境としては恵まれていると言えるだろう。

また同紙では閉鎖した施設の一覧などを掲載している。

主な閉鎖練習場には前出の杉田ゴルフ場(200打席280Y、21年3月26日閉鎖)など距離が100ヤードを超える施設が多数掲載されている。大阪の老舗・吹田ゴルフセンター(110打席250Y、21年1月31日閉鎖)を親会社・北越コーポレーションが約40億円で売却、日立系列の飯山ゴルフ



フスクエア(神奈川県厚木市、120打席220Y、21年5月末閉鎖)も用地を売却、武蔵野系列のウインブラジャゴルフフレーション戸塚(横浜市戸塚区、144打席250Y、21年5月末閉鎖)も同様に用地を売却した。

22、23年には昭和の森ゴルフドライビングレンジ(東京都昭島市、240打席400Y)がゴルフ場の昭和の森Gコースとともに閉鎖が見込まれているが、すでに用地は親会社となった米ファンダが他用途のため売却済みとなっている。このように都心に近いゴルフ練習場は、ゴルフが人気な一方で、他用途への転用も引っぱりだこの人気がなっている。